

読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。



進路だより

第12号

令和3年2月9日発行

宮城県小牛田農林高等学校

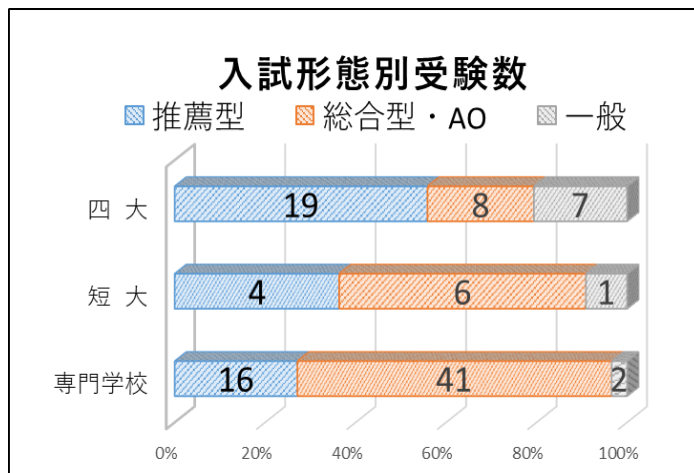
令和2年度進学状況について

今年の3年生の進学者の入試形態別の受験数は右のグラフの通りです。推薦型選抜（以下、推薦型と称します）、総合型選抜（専門学校はAO。以下、総合型・AOと称します）での受験がほとんどを占めます（約90%）。

自分に合う入試形態は？

3年生になると、遅くとも夏休み前には志望校を決定しなければなりません（それでは遅いかもかもしれません）。2年生は実質あと半年しかありません。

本校生のほとんどは推薦型と総合型・AOで受験しています。それぞれについて簡単に説明します。



1 推薦型選抜（旧推薦入試）

学校側が求める基準（ほとんどが3年間の評定平均）に合致し、**人物的に優れている**と判断された場合に利用できる形態です。よって必要になるのは①評定＝「学習成績」②人物判断＝「高校時代の活動実績」となるのではないのでしょうか？

評定に関してはご存じの通りです。「4.0以上」「3.5以上。ただし英語は4.0以上」など。1年次からの毎日の学習の積み重ねと定期考査での結果が大切になります。

人物判断については、「高校時代に何に取り組んだか」だけではなく、「そこから何を学んだか」「今後（進学先、その先の就職先）の生活でどのように生かすか」までの深いところまでを問われます。具体的には部活動や生徒会活動の事になると思いますが、ボランティア活動、資格取得なども対象になります。

「指定校推薦」は指定した高校（指定校）に対し推薦枠を与え、指定校では希望する生徒に対して校内選考を行い、大学等はその選抜された生徒に対して面接などの試験を行って合否を判定する制度です。「高校から選抜された推薦＝高校のお墨付き」ということになるのでしょうか？合格率はかなり高くなります。

推薦入試に適した人→ 「高校時代の諸活動（学業、部活動、生徒会活動、ボランティア活動、資格取得等）にしっかり取り組み、進学先の基準に合致し、進学先で何を学ぶかが明確な生徒」となります。

今年度、本校から推薦型選抜で合格した主な大学・短大

東北学院大学3名 宮城学院女子大学3名 仙台大学3名 東北福祉大学2名 東北生活文化大学1名
尚綱学院大学1名 立教大学1名 駒澤大学1名 東京農業大学1名 国士舘大学1名 他
仙台青葉短期大学3名 羽陽学園短期大学1名

読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。

2 総合型選抜（専門学校はAO）（旧AO入試）

アドミッションオフィスの略で、学校側が求める人材に「自らを売り込む」入試です。高校時代の実績を用いて自分をPRできる生徒で、学校側のアドミッションズポリシー（学校の教育方針などに照らし合わせて、「どんな人間を育てたいか」「どんな学生がほしいか」などが明記されたもの）を理解している生徒向けです。総合型は学習成績の基準（評定平均）等はほぼありません。よって推薦入試を利用できない場合（評定不足等）などに利用されることも多いです。また、一部の専門学校が学生数確保のために早めに入試を行い、学校見学会などで強くAO入試を勧める場合がみられます（一部で問題化。本校でも過去にトラブルあり）。焦らずに、他の選択肢（志望校も受験形態も）と比較し、慎重に選んでください。

AO入試に適した人→ 「志望理由が明確。自分をアピールするもの（セールスポイント）がある。志望校のアドミッションズポリシーを理解し、それに合っている生徒」となります。

今年度、本校から総合型選抜入試で合格した大学・短大

宮城大学1名 東北学院大学3名 宮城学院女子大学2名 東北福祉大学1名 東北工業大学1名
宮城誠真短期大学3名 聖和学園短期大学2名 桜の聖母短期大学1名

3 一般選抜（旧一般入試）

「推薦型」と「総合型」について紹介しました。もう一つ「一般選抜」もありますのでお忘れなく。本校では一般選抜での受験は少なく、その理由としては以下のようなケースがあげられます。

- ① やや難易度の高い四年制大学、医療系大学（看護学部等）、高等看護学校などの推薦入試やAO入試を受験したが、残念ながら不合格になり、一般選抜でチャレンジをするケース
 - ② 熱望する学校の推薦基準に達しなかったため、一般選抜でチャレンジするケース
 - ③ 推薦入試の出願期間・試験が終わった後の急な進路変更で、一般選抜しか受験方法がないケース
- 一般選抜は学科試験になるので、**学力をつけておくことは最低限、当たり前の準備**です。普段の授業を大切にすることはもちろん、進学課外などで実力を蓄えましょう。また、志望校の選択のための材料として、進学模試などで自分の実力（合格可能性）を知っておくことも大切です。

入試形態に関係なく、やるべきこと

基礎学力をつけよう（就職希望者もです！）

これは入試を突破するためのものだけでなく、進学後に大学や専門学校での授業について行ける学力のことです。先日ベネッセコーポレーションの方から以下のような情報をもらいました。「大学や専門学校の先生方が『GTZ（学習到達ゾーン）C以上の能力がないと授業についてくるのは難しい』と言っています」。1年生が1月に行った基礎力診断テストでは、187人中110人がGTZ D以下という結果でした。すでに成績表は返ってきていますよね？あなたの成績はどうでしたか？もう一度確認しましょう。そこで結果だけを見て一喜一憂するのではなく、「なぜこの成績なのか？」「どこが弱点か？」「今後、どうしたらよいのか？」を考えてみましょう。ちなみにGTZ D以下については以下のように説明があります。

進学の目安 → 「希望が実現できなかつたり、進学後について行けなかつたりする可能性が高い」

就職の目安 → 「希望が実現できなかつたり、就職後に仕事について行けなかつたりする可能性が高い」
「進路なんてまだまだ先のこと」なんて思っていないですか？